

ビジネスパーソンと人事担当者へ聞く、Uターン転職意識アンケート

首都圏で働く人の約3人に1人が地方圏への転職に興味あり 一方で、Uターン転職の採用を「アピールできていない」地方圏企業は6割にも

2014年9月、内閣府が人口減少・高齢化という課題に対し、各地域の特徴を活かした自立的で持続的な社会の創出を目的に「まち・ひと・しごと創生本部」を設置、2014年度補正予算では地方創生向け交付金が発表されるなど、「地方創生」の話題が盛り上がりを見せています。この度、リクナビNEXT編集部では、首都圏から地方圏への転職に焦点をあて、ビジネスパーソン意識と地方圏の企業の実態についてアンケートを行いました。

2015年3月16日

(調査概要)

調査方法:「リクナビNEXT Uターン転職に関するアンケート」インターネット上で実施

実施期間:2015年3月5日～8日

調査対象:20～49歳のビジネスパーソン 600名(正社員・契約社員、首都圏在住300名・Uターン転職経験者300名)

採用計画の立案に関わっている地方圏企業担当者 400名

* 首都圏:東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

地方圏:上記1都3県以外の道府県

* Uターンとは:生まれ育った出身地から都市圏で就職した後、出身地に戻り就職する(Uターン)、生まれ育った出身地から別の地方に就職することで、主に首都圏から地方圏に就職すること(Iターン)。

本アンケートでは、首都圏で働くビジネスパーソンの約3人に1人が地方圏で働くことに興味があると回答。受け入れる地方圏の企業側の人事担当者も6割以上が、Uターン転職者の採用に興味があると回答し、ビジネスパーソン側も企業側もUターン転職に関心が高いことが分かりました。

一方で、Uターン転職者の採用を行っているにも関わらず、約6割の人事担当者が「十分にアピールできていない」と答え、ビジネスパーソン側も、約半数が地方圏での転職に関する情報は十分でない、と回答しました。企業側がアピールできていない理由としては、1位に「伝える場がない・少ない」があげられ、アピールしたくても場を持っていない企業の悩みがうかがえる結果となりました。

リクナビNEXTでは、このような企業の悩みとビジネスパーソンのUターン転職に関する情報ニーズを受け、この度「Uターン求人特集」を開始(2015年4月14日まで)。地域で活躍できる仕事だけでなく、Uターンの基本知識、Uターン転職経験者のリアルボイスなどを紹介しています。

PC:https://next.rikunabi.com/tokushu/ui_turn/?bh=pr_ui_tokushu

スマホ:https://next.rikunabi.com/tokushu/sp/ui_turn/?bh=pr_ui_tokushu

【調査結果】

〈ビジネスパーソンアンケート〉

- ◆首都圏で働くビジネスパーソンの約3人に1人が地方圏への転職に興味あり。「今すぐにも」14.3%に地方圏への転職に感じる不安1位「希望する仕事があるか分からない」「収入が減る」 ……2
- ◆首都圏で働くビジネスパーソンの半数以上が地方圏への転職に関する情報は「不足している」と回答
不足している情報は、「希望する職種の有無」、「仕事の有無」、「生活にかかる費用の相場」 ……2
- ◆地方圏への転職者に対する企業側の支援について、8割が「足りていない」と回答
必要だと思う採用時の支援は、1位「面接を土日に設定できる」 ……3

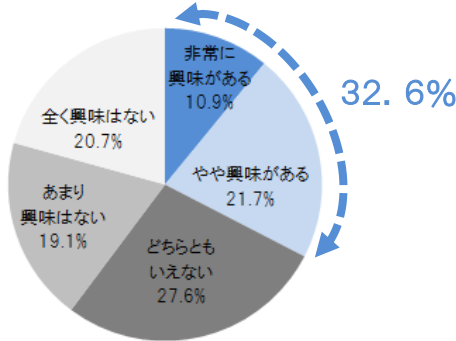
〈地方圏の企業人事担当者アンケート〉

- ◆約7割もの人事担当者が「Uターン転職者の採用に関心がある」、特に関心が高い地域は「中国・四国」
一方で、採用意向や企業情報を「アピールできていない」企業は6割にも ……3
- ◆Uターン転職者への支援を「十分にできている」4割のみ
半数の人事担当者が、「5年前と比べ採用体制が整ってきている」と回答するなど、改善の傾向も ……5

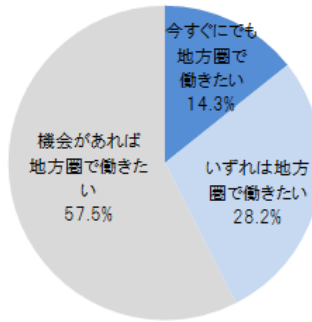
首都圏で働くビジネスパーソンの約3人に1人が地方圏への転職に興味あり。「今すぐにも14.3%に地方圏への転職を感じる不安1位」「希望する仕事があるか分からない」「収入が減る」

まず、首都圏で働くビジネスパーソンに地方圏への転職意欲をたずねたところ、約3人に1人が興味ありと回答し、その中で、「今すぐにも」と回答した人も14.3%と、地方圏で働くことに対する興味が高いことが分かりました。地方圏への転職に対し「希望する仕事があるか分からない」「収入が減る」という不安を抱えていることが分かりました。

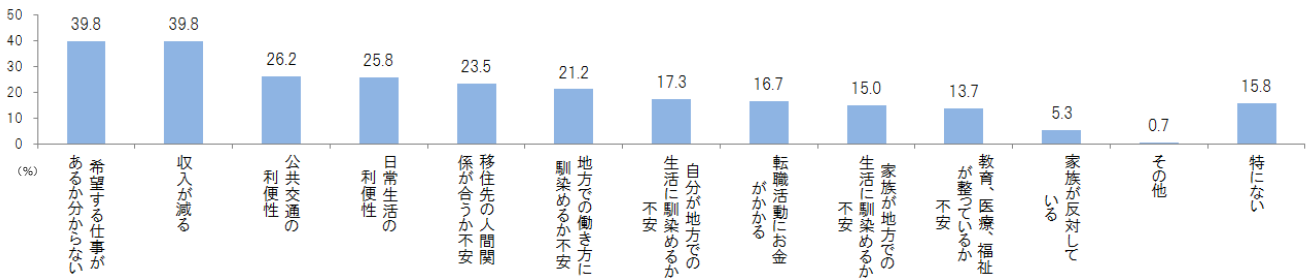
■ 地方圏で働くことに興味はあるか
* 現在、首都圏で働いていると回答した人



■ 地方圏で働くことへの関心度の高さ
* 地方圏で働くことに「非常に興味がある」「やや興味がある」と回答した人



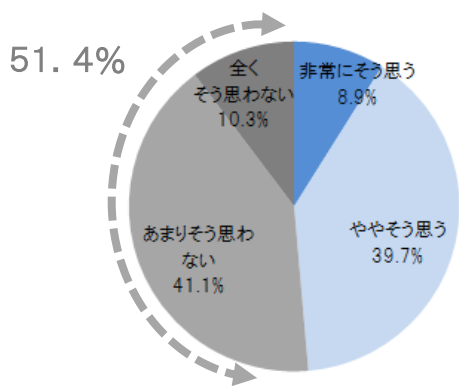
■ 地方圏への転職に対して抱く不安



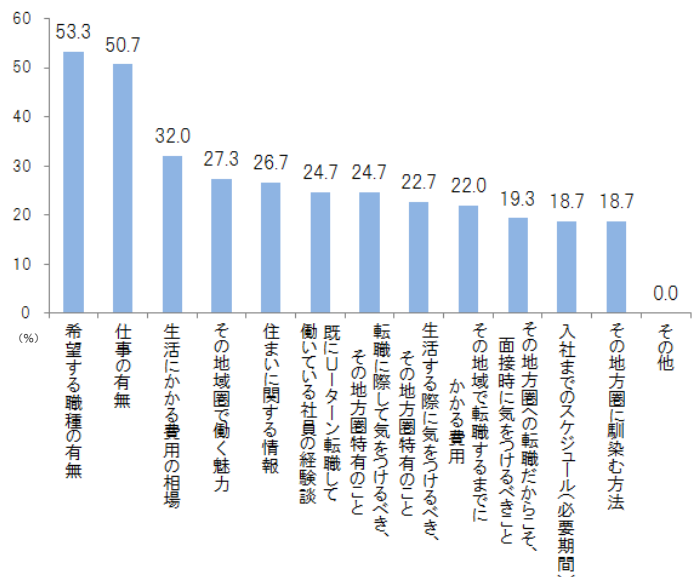
首都圏で働くビジネスパーソンの半数以上が地方圏への転職に関する情報は「不足している」と回答
不足している情報は、「希望する職種の有無」、「仕事の有無」、「生活にかかる費用の相場」

続いて、地方圏への転職に関する情報についてたずねたところ、51.4%が十分でないと回答。不足している情報としては仕事の有無だけでなく、生活に関することも上位に上がりました。

■ 地方圏への転職に関する情報は十分だと思うか



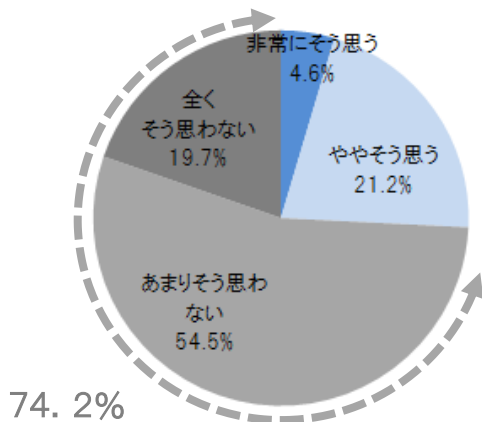
■ 地方圏への転職に関して不足していると思う情報



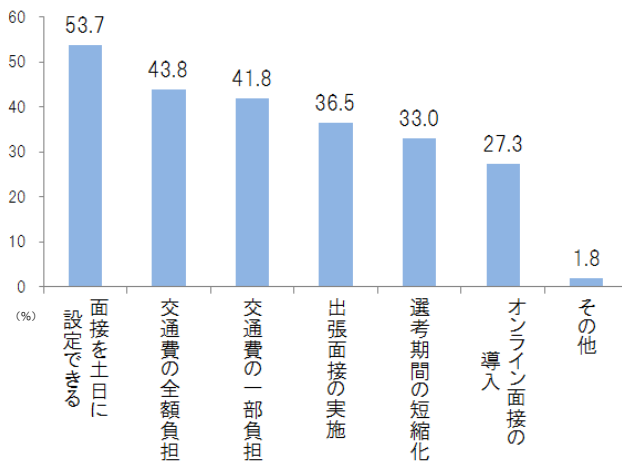
地方圏への転職者に対する企業側の支援について、8割が「足りていない」と回答 必要だと思う採用時の支援は、1位「面接を土日に設定できる」

最後に、地方圏への転職者に対する企業側の支援について、ビジネスパーソンがどのように感じているかたずねたところ、転職者への企業側の支援は「十分ではない」と回答した人が74.2%にものびました。

■地方圏への転職者に対する 企業側の支援は十分だと思うか



■採用時の支援として必要だと思うもの



■地方圏へ転職してよかったこと

*地方圏への転職経験者

- ・渋滞・満員電車での通勤からの開放された事。サラリーマン生活40年を考えると、通勤往復2時間で何年この満員電車の中で過ごすか時間の無駄を非常に感じた。(中国・四国、40代男性)
- ・地域特有の力を入れている業種に携われる(九州、20代男性)
- ・空気が綺麗な環境になり、健康的になれた(北海道、30代男性)

■地方圏へ転職して苦労したこと

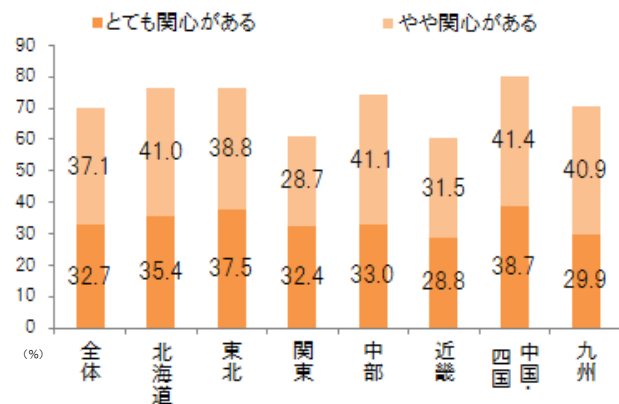
*地方圏への転職経験者

- ・土地勘がないので、何か必要な物があつた時にどこに行ったら売っているのかわからない(関東、40代男性)
- ・仕事以外で友達ができない(関東、20代女性)
- ・風習や習慣などに馴染めない(九州、40代女性)

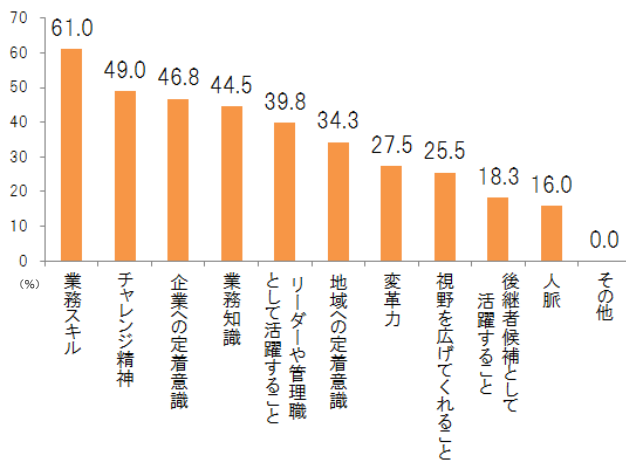
約7割もの人事担当者が「Uターン転職者の採用に関心がある」、特に関心が高い地域は「中国・四国」 一方で、採用意向や企業情報を「アピールできていない」企業は6割にも

続いて、地方圏の企業の人事担当者に首都圏からの転職採用への関心度をたずねたところ、69.8%もの人事担当者が関心があると回答。一方で、採用意向や企業情報を十分アピールできているのは41.4%のみとなり、アピールする場も、「自社のホームページ」や「地元の求人誌」が上位にあがるなど、したくても場を持っていない実態が分かる結果となりました。

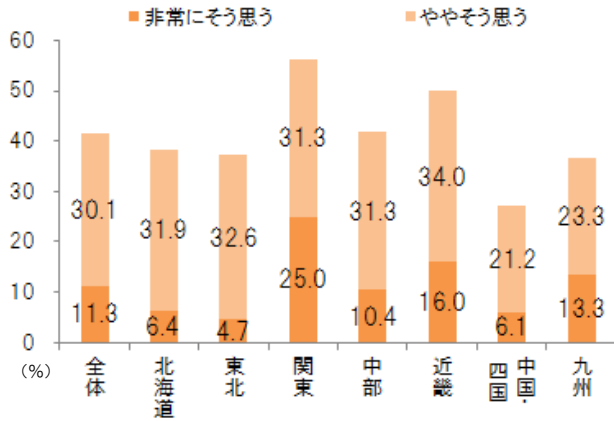
■Uターン転職者の採用に関心があるか



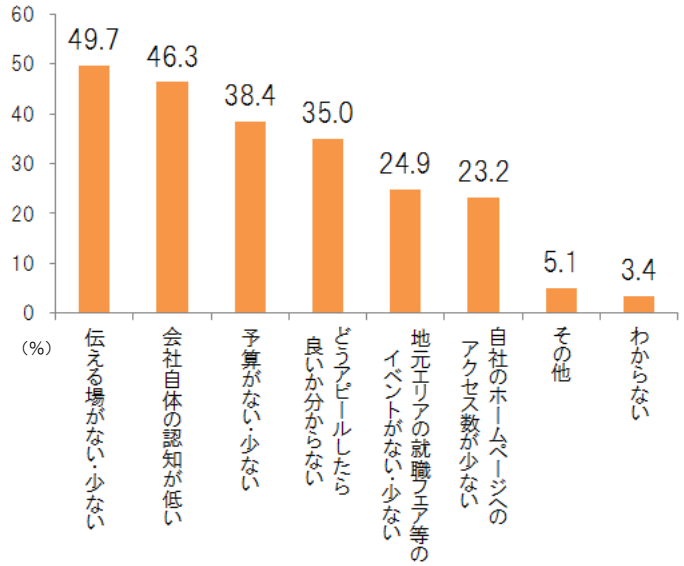
■Uターン転職者に期待すること



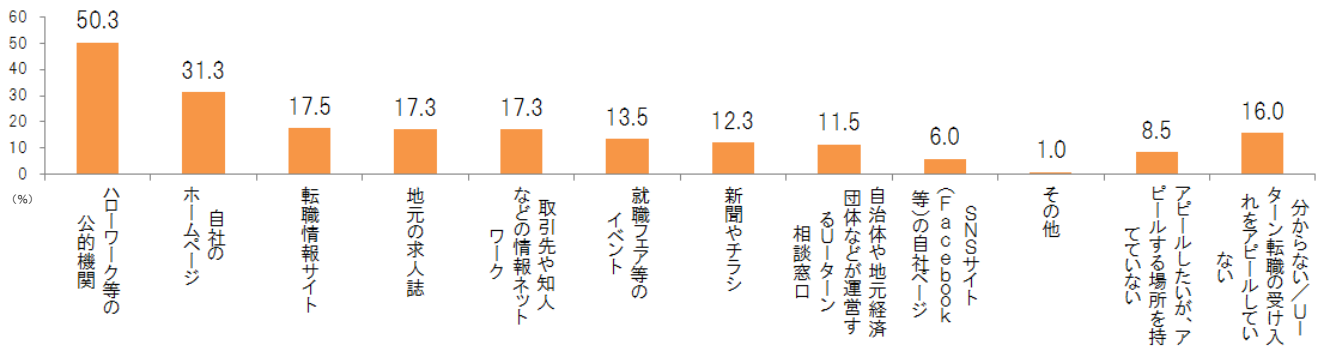
■Uターン転職者の採用を行っていることを十分にアピールできているか



■Uターン転職者の採用意向や企業情報をアピールできていない理由



■Uターン転職者の採用意向や採用情報をアピールしている場



■Uターン転職者を採用してよかったこと

*Uターン転職者の採用実績がある人事担当者

- ・地域に貢献したいという意識が高い(中部)
- ・新しい空気が混じることによる新しい行動や思考(北海道)
- ・地域を別の角度で見ることが出来、新たな発想を用いた企画などが出来る(東北)
- ・職員の意識活性化(北海道)
- ・社内の人員の空気が変わったこと(近畿)

■Uターン転職者を採用して苦労したこと

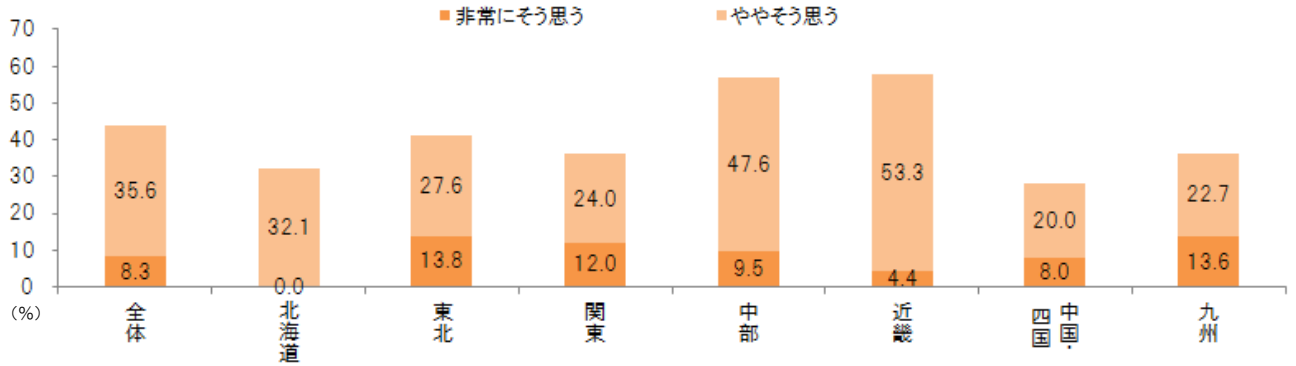
*Uターン転職者の採用実績がある人事担当者

- ・本人以外の家族が地元になじむのに時間がかかって、本人の悩みになり、相談を受けてからいろいろ援助やアドバイスをしたり苦労があった(東北)
- ・比較的若い転職者を採用した際に、とても有能で期待した人材だったのだが、なかなか地域に根を下ろすことができず、結局半年ほどで退職してしまった(東北)
- ・東京との賃金格差の納得を得ること(近畿)
- ・新しい案に反発する社員との調和(東北)

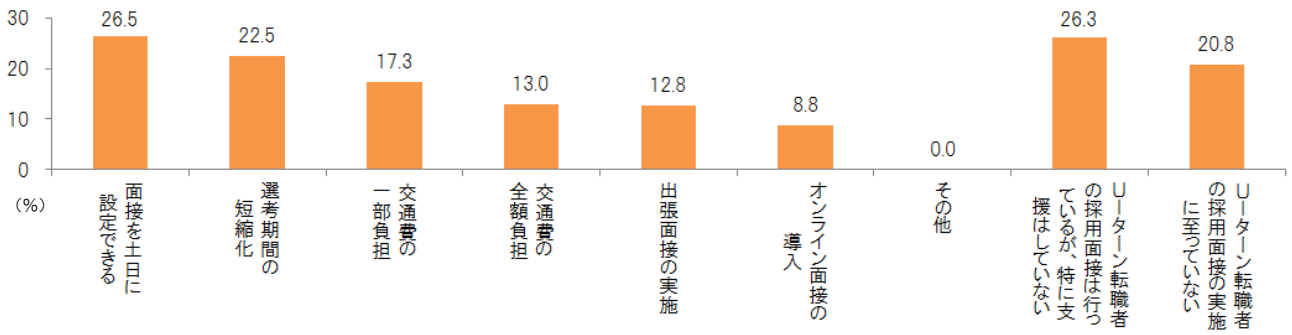
Uターン転職者への支援を「十分にできている」4割のみ 半数の人事担当者が、「5年前と比べ採用体制が整ってきている」と回答するなど、改善の傾向も

次に、Uターン転職者の支援についてたずねたところ、十分に支援できていると回答した企業は43.9%のみという結果となりました。一方で、5年前と比べて採用体制が整ってきている、と回答した企業は49.6%と約半数となり、今後力を入れていきたいと回答した企業は7割以上と改善の傾向も見られる結果となりました。政府や自治体の支援が促進される中、企業側の受け入れ体制がより整うことが期待されます。

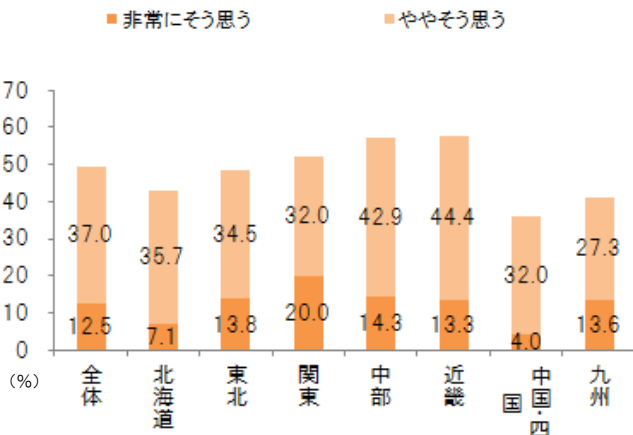
■Uターン転職者の支援を十分にできていると思うか



■Uターン転職者の採用時に用意している支援



■5年前と比べてUターン転職者の採用体制は整ってきているか



■今後、Uターン転職者の採用に向けた支援や制度に力を入れていきたいと考えているか

